



VMware Horizon

パッケージとライセンス

ホワイト ペーパー

対象製品：

主要製品

- VMware Workspace Suite
- VMware Horizon 6 の各エディション
- VMware Horizon FLEX
- VMware Horizon Air (DaaS)

関連製品

- VMware Horizon Application Management Bundle
- VMware User Environment Manager
- VMware App Volumes
- VMware Mirage
- VMware ThinApp
- VMware Workspace Portal
- VMware vSphere Desktop
- VMware vRealize Operations for Horizon

概要

VMware® のエンド ユーザー コンピューティング製品を利用することで、従来のテクノロジーでは対処できなかった問題を解決し、事後対応型のサービスから、ビジネスの俊敏性とユーザーの生産性を向上させるサービスの提供にシフトすることができます。オフィス、自宅、外出先など、場所やデバイスを問わず直感的に使用できる一貫した環境をエンド ユーザーに提供しながら、企業のコンピューティング環境においてセキュリティ、管理性、および継続的なコンプライアンスを確保することが可能です。

このホワイト ペーパーでは、VMware Horizon™ の各エディションと、 Horizon Air (DaaS) および Horizon FLEX、VMware Workspace™、VMware Mirage™ をはじめとする、VMware のエンド ユーザー コンピューティング製品のパッケージとライセンスについて説明します。価格については、VMware 認定パートナーへお問い合わせください。

このホワイト ペーパーでは、各製品の概要と、対応する SKU (製品番号) については簡単な解説に留めています。製品に関する詳しい説明や競合製品に関する詳細な情報は、製品ページ または パートナー様専用サイト (Partner Central) でご確認ください。また、このガイドはエンド ユーザー使用許諾契約書 (EULA) の代替または相反するものでもありません。詳細については、[エンド ユーザー使用許諾契約書 \(EULA\)](#) を参照してください。

購入に関する基本情報

VMware® のエンド ユーザー コンピューティング製品は、VMware のディストリビュータおよびパートナーより販売されており、すべての VMware デスクトップおよびワークスペース サービス製品は、サポートおよびサブスクリプション (SnS) とあわせてご購入いただく必要があります。サポートおよびサブスクリプション (SnS) には、Basic (ベーシック) と Production (プロダクション) の 2 種類が用意されています。この 2 つの主な違いは、ベーシックでは、ユーザーが受けられるサポートは 1 日 12 時間、週 5 日であるのに対し、プロダクションでは、ユーザーは 24 時間 365 日サポートを受けられる点です。どちらのサポート オプションでも、すべてのアップデートおよびアップグレードを受けることができ、契約期間は 1 年または 3 年のいずれかです。ベーシック サポートの詳細についてはこちら、プロダクション サポートの詳細については、こちらをご参照ください。

オンラインで利用可能な製品選定ツールとウィザード

SKU のラインアップやアップグレード方法が、非常に複雑化しているため、製品選定にお役立ていただけるよう、2 つのオンライン ツールをご用意しています。

- **Horizon Editions Selection Tool** (英語)： VMware Horizon には、View Standard、Advanced、および Enterprise の 3 つのエディションが用意されています。[こちらの](#)ツールから、お客様のニーズに合ったエディション選択いただけます。
- **Horizon Editions Upgrade Tool** (英語)： お客様が現在お持ちの製品または SKU を入力し、アップグレードを希望されている製品を選択すると、アップグレード方法が提示されます。[こちらの](#)ツールで、最適なアップグレード方法を確認いただけます。

製品の詳細： 主要製品

VMware Workspace Suite

VMware Workspace Suite は、アプリケーション、デバイス、およびデータの管理に、ID の統合管理とポリシーの適用機能を組み合わせた製品です。この製品を利用すると、従業員が場所や時間を問わず作業できるようになり、ワークフローの変革と IT 管理の簡素化が可能になります。詳細については、こちらを参照してください。

- Workspace Suite とそのコンポーネントのライセンスはオンプレミス、指定ユーザー単位で提供
- 10 パックおよび 100 パック単位で購入可能

製品	概要	SKU
Workspace Suite	含まれるコンポーネント： <ul style="list-style-type: none"> - AirWatch Yellow Management Suite (Secure Content Locker を含む) - Horizon Enterprise Edition - Horizon FLEX 	WSP-STE-10-C (10 パック) WSP-STE-100-C (100 パック)

注： Workspace Suite は、Horizon 6 のエディションとは別にご購入いただく必要があります。10 パックおよび 100 パック単位でご購入いただけます。

Workspace Suite および AirWatch のライセンスと管理に関する注意事項

Workspace Suite では、1 指定ユーザーライセンスあたり、「Enrolled」 デバイス最大 3 台と 「Not-Enrolled」 デバイスを無制限で利用することができます。Secure Content Locker SYNC AGENT がインストールされているデバイスは 「Enrolled」と見なされ、ユーザーがオンラインであるかどうかに関わらず常に同期されるので、そのデバイスは 「Always on」と見なされます。Web ブラウザからのみ Secure Content Locker へアクセスしている場合は、「Enrolled」とは見なされず、エンド ユーザーがアクセスできるデバイスの数は制限されません。

Workspace Suite から Secure Content Locker (SCL) へアクセスできますが、Secure Content Locker の管理を行うことはできません。Secure Content Locker の管理は、AirWatch のポータル サイト (www.air-watch.com/jp) から直接行えます。

VMware Collaboration Bundle (日本での提供開始は未定)

VMware Collaboration Bundle を利用することにより、コンテンツの集約、組織間やエキスパートとの連携、アプリケーションやユーザーにコンテンツ、ソーシャル ネットワーク、ビデオ サービスへのアクセスを提供するといった、モバイル・クラウド時代に合わせたサービスを提供することが可能です。このような使いやすく、効果的に統合されたツール群 (Socialcast によるエンタープライズ ソーシャル ネットワーキング、AirWatch Video による配信、AirWatch Secure Content Locker によるファイル同期および共有など) は、イノベーションを加速させ、ビジネス プロセスの変革、組織間の連携を促す情報共有を実現すると同時に、機密情報や知的財産も保護します。VMware はモバイル・ファーストで設計されたコラボレーション プラットフォームを提供することで、社内やクラウド ベースの既存の情報リポジトリをモバイル化し、安全なソーシャル コラボレーション ツールを使用した既存システムとの連携を促進します。

- VMware Collaboration Bundle のライセンスはオンプレミス、指定ユーザー単位で提供
- 1 バンドル (最小 25 ユーザー) 単位で購入可能

製品	概要	SKU
VMware Collaboration Bundle (日本での提供開始は未定)	含まれるコンポーネント： <ul style="list-style-type: none"> - Socialcast® by VMware® - AirWatch® Video - AirWatch® Secure Content Locker 	V-VCB-PL-3USR-C

VMware Horizon 6 の各エディション

Horizon は、Windows サービスやオンライン サービスをオンプレミスで提供することを目的に設計された、デスクトップとアプリケーションの仮想化ソリューションの製品群です。Horizon 6 では、データセンターからデバイスにいたるまで仮想化の機能を拡張し、デスクトップやアプリケーションの仮想化を通じて、優れたユーザー環境およびクローズド ループ型の管理を実現しています。

VMware Horizon 6 には、View Standard、Advanced、および Enterprise の 3 つのエディションが用意されています。どのエディションにも、End-to-End の仮想デスクトップ展開に必要なすべてのコンポーネントが含まれています。お客様のニーズに合ったエディションを推奨するツールもご用意しています（英語）。[こちら](#)からご参照ください。

- **Horizon View Standard Edition** : シンプルで強力かつ操作性に優れた仮想デスクトップ インフラストラクチャ環境をユーザーに提供
- **Horizon Advanced Edition** : 統合ワークスペースを通じて、デスクトップとアプリケーションを費用対効果に優れた方法で提供
- **Horizon Enterprise Edition** : クローズド ループ型の管理と自動化に対応したデスクトップとアプリケーションを提供
- **Horizon 6 for Linux** : Linux オペレーティング システム向けのシンプルで高性能な VDI

VMware Horizon 6 の各エディションに含まれるコンポーネント

VMware Horizon View Standard、Advanced、および Enterprise の各エディションに含まれるコンポーネントは次の表のとおりです。Horizon Advanced および Enterprise エディションに含まれるすべてのコンポーネントは、単体のライセンスとしてもご購入いただけます（例：ThinApp を単体製品として購入可能）。

Horizon のエディション：		Linux	View Standard*	Advanced	Enterprise
提供パッケージ数		10 パックまたは 100 パック			
ライセンス オプション NU = 指定ユーザー単位、 CCU = 同時接続ユーザー単位		CCU	CCU	NU または CCU	NU または CCU
デスクトップ インフラストラクチャ					
仮想デスクトップ	VMware View		○	○	○
	VMware Horizon 6 for Linux	○			○
クラウド インフラストラクチャ	VMware vSphere Desktop および vCenter Desktop**	○	○	○	○
仮想デスクトップのイメージ管理	VMware Mirage および Fusion Pro			○	○
アプリケーション					
アプリケーション カタログ およびダッシュボード	XenApp、RDSH、SaaS、ThinApp（すべて VMware Workspace Portal からアクセス可能）			○	○
アプリケーションのパッケージング	VMware ThinApp		○	○	○
アプリケーションの仮想化	公開アプリケーション（RDSH）			○	○
ジャストインタイムのアプリケーション配布	VMware App Volumes				○
カスタマイズ設定およびポリシー					
ユーザー設定管理	VMware User Environment Manager				○
ストレージ					
仮想ストレージ	Horizon 向け VMware Virtual SAN			○	○
運用管理					
運用ダッシュボード：健全性の監視とパフォーマンス分析	vRealize Operations for Horizon				○
キャパシティ管理：プランニングと最適化	vRealize Operations for Horizon				○
クラウドの自動化					
ワークフローの設計と自動化	vRealize Orchestrator + デスクトップ プラグイン				○

*VMware View Premier を購入済みのお客様は、Horizon View Standard Edition をご利用いただけます。

**Horizon の各エディションに含まれている vSphere Desktop では、vSphere Enterprise Plus と同等の機能をご利用いただけます。

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
Horizon View Standard Edition (同時接続ユーザー単位)	- View - ThinApp Client および Packager - Workstation (管理ライセンス × 1) - vSphere Desktop - vCenter Desktop	HZ-STD-10-C HZ-STD-100-C
Horizon Advanced Edition (指定ユーザー単位)	Horizon View Standard Edition に加え、次の製品が含まれます	HZ-ADVN-10-C HZ-ADVN-100-C
Horizon Advanced Edition (同時接続ユーザー単位)	- Virtual SAN - 公開アプリケーション - Workspace Portal	HZ-ADVC-10-C HZ-ADVC-100-C
Horizon Enterprise Edition (指定ユーザー単位)	Horizon Advanced Edition に加え、次の製品が含まれます	HZ-ENTN-10-C HZ-ENTN-100-C
Horizon Enterprise Edition (同時接続ユーザー単位)	- App Volumes - User Environment Manager - vRealize Operations for Horizon - vRealize Orchestrator とデスクトップ プラグイン - View for Linux	HZ-ENTC-10-C HZ-ENTC-100-C
Horizon 6 for Linux	- View for Linux - vSphere Desktop - vCenter Desktop	HZ-LXC-10-C HZ-LXC-100-C

Horizon View Standard アドオン

- Horizon View Standard アドオン には、デスクトップ コンポーネントのみが含まれています。vSphere をお持ちでない場合は、vSphere Desktop を別途ご購入いただく必要があります。
- Horizon View Standard アドオンは Standard Edition へのアップグレードにのみ使用できます。Horizon Advanced Edition および Horizon Enterprise Edition にはアドオン パッケージをご用意していません。

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
Horizon View Standard Add-on	- vSphere と vCenter Server を購入済みで VMware View が必要なお客様向け	HZ-STD-A10-C HZ-STD-A100-C

Horizon デスクトップ ライセンス モデル： 指定ユーザーと同時接続ユーザー モデルの比較

Horizon Advanced Edition および Enterprise Edition のライセンスは、指定ユーザー単位または同時接続ユーザー単位のモデルをご用意しています。

- 指定ユーザー単位（NU）のライセンス：仮想環境において、従業員が終日特定の仮想マシンにアクセスする環境に適しています。
- 同時接続単位（CCU）の無期限ライセンス：仮想環境において、アルバイトやシフト勤務の従業員など、終日多数のユーザーがマシンを共有する環境に適しています。同時接続単位は、パワーオン状態の仮想マシンに接続している仮想デスクトップ セッションを指します。この場合、企業や組織がライセンスの所有者となります。

バンドル内のコンポーネントを複数のユーザーに振り分けることはできません。これは、指定ユーザー単位の場合と、同時接続単位の場合の両方に当てはまります。個別のコンポーネントはありますが、それらすべてを含めて単一の製品とみなします。たとえば、同時接続単位のライセンス モデルで、エンド ユーザーが View のみに接続している場合、バンドル内のほかの関連コンポーネント（たとえば Workspace Portal や Mirage）も、このユーザーに割り当てられているとみなされ、ほかのユーザーに権限を付与することはできません。

例：

組織 A が Horizon Enterprise Edition の同時接続単位のライセンスを 100 個保有しているとします。ユーザー A が仮想デスクトップに接続し、同時接続ライセンスを 1 つ利用します。ユーザー A は Mirage を使用していません。この場合、別のユーザーが Mirage を使用することはできません。

ユーザー A が、バンドル内のすべてのコンポーネントに接続していなかったとしても、バンドル内の 1 つのコンポーネントに接続した時点で、ユーザーがセッションに接続している間は、デフォルトでほかのコンポーネントもユーザーに割り当てられます。

指定ユーザー（NU）と同時接続ユーザー（CCU）の使い分け

主に使用するのが View であり、エンド ユーザーがシフト制でデスクトップにアクセスする場合（たとえば、日中に 200 人、夜間に 200 人がアクセスするが、400 人全員が同時にアクセスすることはない場合）、かつ 200 個を超える Mirage または Workspace Portal のインスタンスが同時に必要になることが予測されない場合は、Horizon の CCU ライセンスを 200 個購入されることを推奨します。

主に使用するのが View であり、ユーザーがシフト勤務ではない場合（たとえば、400 人の従業員全員が同時に接続する場合は、NU ライセンスが適しています。この場合、400 人の従業員全員に Mirage および Workspace Portal の利用権限を付与できます。

主に使用するのが View であり、シフト勤務の従業員が日中に 200 人、夜間に 200 人いて、加えてシフト勤務ではない従業員 50 人が Mirage を必要としている場合は、Horizon の CCU ライセンスを 200 個と Mirage の単体ライセンスを 50 個購入されることをお勧めします。

同時接続と Mirage / Workspace Portal / Fusion Pro

Horizon Advanced Edition と Horizon Enterprise Edition は同時接続単位のライセンスで購入できますが、バンドル内の Mirage と Workspace Portal の各コンポーネントは、指定ユーザー単位（Mirage、Workspace Portal）またはデバイス単位（Mirage、Fusion Pro）でのみ利用できます。たとえば 400 人の従業員のうち 200 人が日中、200 人が夜間に出勤し、この従業員全員に View と Mirage へのアクセスを提供する場合、2 つの選択肢があります。Horizon Advanced Edition の CCU ライセンスを 200 個と VMware Mirage を 200 パック購入するか、Horizon Advanced Edition の CCU ライセンスを 400 個購入するかのいずれかです。多くの場合、前者のほうが高い費用対効果を見込めます。ただし、どちらを選択する場合でも、400 人の従業員用に Mirage のライセンスが 400 個必要になります。これは、同時に接続するのが 200 人であっても同じです。Workspace Portal についても同様です。

ライセンスの混在

Horizon 6 のライセンスで実行している vSphere ホストと vSphere 単体のライセンスで実行している vSphere ホストの混在

ディザスタ リカバリ時に、VMware vSphere® vMotion® によって、Horizon のライセンスで実行している vSphere ホストにサーバのワークロードがライブ マイグレーションされる可能性があります。これはエンド ユーザー使用許諾契約書の規定違反となるため、混在環境での使用は推奨されません。環境を完全に分離するか、混在環境を維持する場合は vSphere、vCenter Server、および Horizon の各ライセンスを単体で購入することをお勧めします。

vSphere Desktop の同一インスタンスでの NU バンドルと CCU バンドルの混在

エンド ユーザー使用許諾契約書（EULA）では規定されていませんが、一度ライセンスのアクティベーションが行われると、ライセンスが NU か CCU であるかを監視する仕組みはありません。

vRealize Operations で管理された同一クラスタ内における Horizon Advanced と Enterprise の混在

エンド ユーザー使用許諾契約書（EULA）では同一の vCenter Operations または vRealize Operations クラスタ上に Advanced Edition と Enterprise Edition を混在させることは制限されておらず、実行しても問題はありますが推奨はしていません。

VMware Horizon FLEX

VMware Horizon FLEX では、Mac および Windows ユーザー、契約社員、および外出先などネットワークに接続できない環境で PC を使用するユーザーのニーズに柔軟に対応しながら、企業の PC のセキュリティ、管理、コンプライアンスを確保することが可能です。また、データがローカルに保存されるため、エンド ユーザーがオフライン状態や外出中でも作業できることから、Horizon の製品群を補完するソリューションです。バンドル製品になっており、Horizon FLEX ポリシー サーバ、Horizon FLEX クライアント（Fusion Pro または Player Pro）、および VMware Mirage のイメージ管理機能が含まれます。Horizon FLEX の一般的な使用例として、個人所有の PC を持ち込む場合や、仮想デスクトップ インフラストラクチャの導入が現実的ではない環境でのオフライン作業、臨時社員や契約社員による使用、開発環境やトレーニング環境、および地域オフィスなどでの使用が考えられます。

- Horizon FLEX およびコンポーネントのライセンスの提供はデバイス単位
- 10 ライセンス単位で購入可能

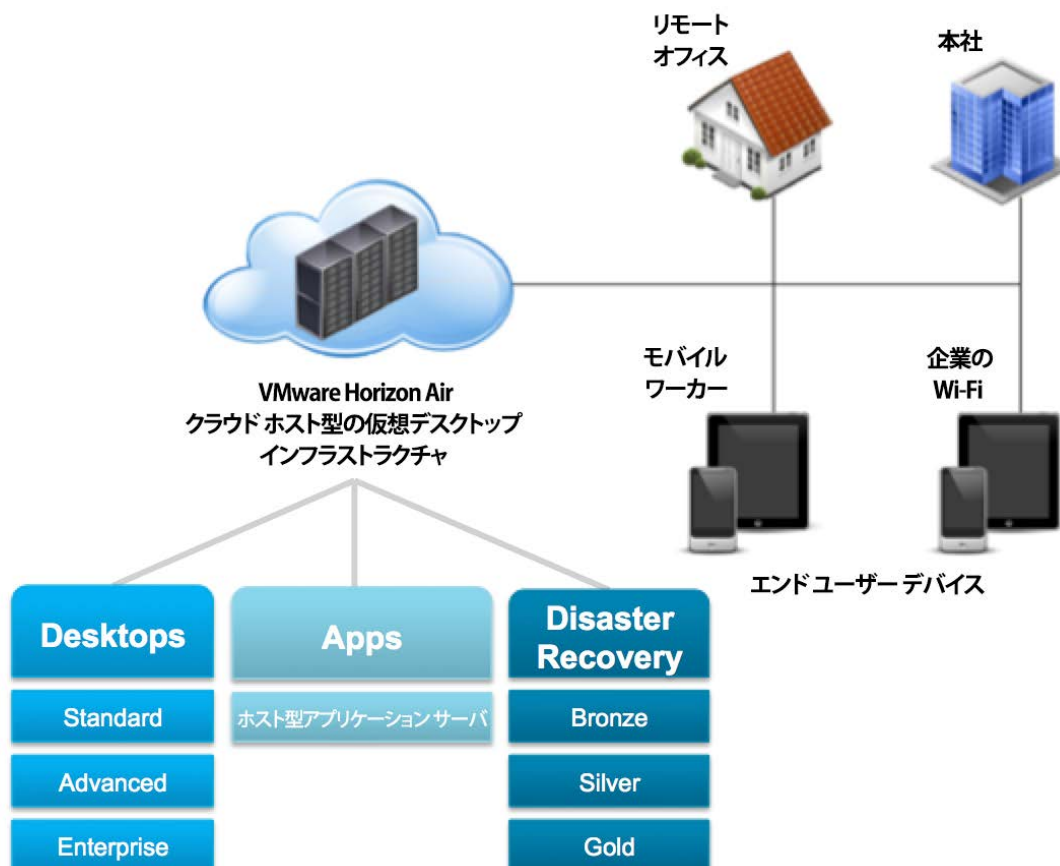
製品	概要	SKU
Horizon FLEX	含まれるコンポーネント： - Horizon FLEX ポリシー サーバ - Horizon FLEX クライアント (Fusion Pro または Player Pro) - VMware Mirage for FLEX	HZ-FLX-10-C (10 パック)
Horizon FLEX (Fusion 7 Pro または Player 7 Pro からの アップグレード)	含まれるコンポーネント： - Horizon FLEX ポリシー サーバ - Horizon FLEX クライアント (Fusion Pro または Player Pro) - VMware Mirage for FLEX	HZ-FUSPL7-FLX-UG-C (1 パック単位、10 パックから 購入可能)
Horizon FLEX (Fusion 5 Pro または Fusion 6 Pro からの アップグレード)	含まれるコンポーネント： - Horizon FLEX ポリシー サーバ - Horizon FLEX クライアント (Fusion Pro または Player Pro) - VMware Mirage for FLEX	HZ-FUS56-FLX-UG-C (1 パック単位、10 パックから 購入可能)

注： Horizon FLEX は、Horizon 6 のエディションとは別にご購入いただく必要があります。

VMware Horizon Air：クラウド ホスト型デスクトップ、アプリケーション、およびサービスとしてのディザスタ リカバリ

VMware Horizon Air は、VMware vCloud Air を基盤とする VMware のクラウド サービス製品群です。場所やデバイスを問わず、仮想デスクトップ、アプリケーション、およびディザスタ リカバリ機能をエンド ユーザーに提供します。VMware Horizon Air Desktops and Horizon Air Apps では、エンド ユーザーは任意のデバイスやブラウザから、各自のデスクトップおよびアプリケーションに安全にアクセスできるようになり、IT 部門には、既存のスキルやツールを使用して環境を容易に管理できるというメリットもあります。信頼性に優れた VMware vSphere® を基盤とする VMware Horizon Desktops and VMware Horizon Air Apps は、IT 部門が求める信頼性、セキュリティ、およびパフォーマンスを実現し、ビジネス要件を満たすことが可能です。

VMware Horizon Air Desktop DR では、低コストなクラウド ホスト型のデスクトップやアプリケーションを使用して、ビジネスを容易に保護し、ダウンタイムのない作業環境を確保できます。万が一災害が発生しても、クラウドのスピードを活用してユーザーの作業環境を迅速に復旧させることが可能です。物理デスクトップ ディザスタ リカバリ ソリューションとは異なり、複雑な作業を行う必要はありません。企業のリソースに接続された安全なワークスペースを使用して、エンド ユーザーは、デバイスや場所を問わず、すぐに作業を再開することができます。VMware が提供するクラウド サービスによって、企業規模を問わず、低コストで、デスクトップ ディザスタ リカバリを利用いただけるようになりました。



VMware Horizon Air Desktops and Horizon Air Apps

エンド ユーザーが、各自の仮想デスクトップやホスト型アプリケーションにアクセスする際は、VMware Horizon Client または任意のデバイスを使用します。仮想デスクトップやホスト型アプリケーションはクラウドに格納されており、IT 部門は、既存のスキルやツールを使用してこれらを容易に管理できます。基盤となるインフラストラクチャの管理機能と、業界最高レベルの SLA、サービス、およびサポートを提供するクラウド サービスです。

Horizon Air Desktops には、ユース ケースに合わせたさまざまなワークロード オプションが用意されており、ニーズに応じて、Standard、Advanced、または Enterprise の各エディションのいずれかをお選びいただけます。各エディションの概要は下表の通りです。Horizon Air Business Starter Pack では、Desktop オプションと Apps オプションが混在した環境を試験的に使用することができます。Desktop オプションは 50 パック単位、Hosted App Server は 5 パック単位でご購入いただけます。Horizon Air Desktop および Apps パッケージのどちらにも、IP アドレス 1 個、ゴールド パターン テンプレート 2 つ、1 Gbps の接続、そしてサポートが含まれています。

デスクトップ モデル	Standard	Advanced	Enterprise	ホスト型 アプリケーション サーバ
プロセッサ	仮想 CPU 1 個分	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分	仮想 CPU 20 個分
メモリ	2 GB の 仮想メモリ	4 GB の 仮想メモリ	8 GB の 仮想メモリ	30 GB の 仮想メモリ
ハード ディスク	30 GB	60 GB	120 GB	100 GB
Soft 3D (オプション)	なし	あり	あり	なし
アクセス デバイス	Horizon View Client、PCoIP 対応ゼロ クライアント			
デスクトップの種類	パーシステントおよびノンパーシステント VDI			アプリケーションまたは 共有デスクトップの RDSH セッション
対応 OS	Windows XP、7、8 (64 ビット) Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012			Windows Server 2008 R2 RDSH

契約期間とお支払い方法によって価格が異なります。年単位、月単位、または前払いでのお支払いが可能で、1 か月から 36 か月まで対応しています。オプションの詳細については、次の表を参照してください。

契約期間	年単位	月単位	前払い
1 か月		○	
12 か月		○	○
24 か月	○	○	○
36 か月	○	○	○

追加アドオンは次の通りです。

- 追加のハード ディスク ストレージ (1 TB)
- 1 Gbps および 10 Gbps の Direct Connect
- ThinApp アドオン サブスクリプション
- VMware vCloud Air Disaster Recovery (災害復旧サービス) アドオン詳細については、後述の内容を参照してください。

VMware Horizon Air の災害復旧サービス

万が一災害が発生しても、Horizon Air Desktop DR があれば、クラウドのスピードを活用してユーザーの作業環境を迅速に復旧させることが可能です。物理デスクトップ ディザスタ リカバリ ソリューションとは異なり、複雑な作業を行う必要はありません。Horizon Air Desktop DR をご利用いただくには、Horizon Air Standard、Advanced、または Enterprise の基本サブスクリプション（12 か月以上）が必要です。その上で、従業員の職務に応じたサービス クラスに準じて定められた Service License Agreement（SLA）を基に、各ユーザーにデスクトップ予約キャパシティを追加することができます。Horizon Air Desktop DR のサービス クラスは次の通りです。

- Gold：8 時間以内にデスクトップをスタンバイ状態から復帰
- Silver：24 時間以内にデスクトップをスタンバイ状態から復帰
- Bronze：72 時間以内にデスクトップをスタンバイ状態から復帰

デスクトップの予約キャパシティを購入いただくことで、災害発生時に予備のデスクトップをスタンバイ状態から復帰させることができるようになります。料金は、お客様からの災害の告知を受けて、1 日単位で発生します。

サブスクリプション契約期間は 12 ～ 36 か月で、お支払い方法は 1 年ごと、1 か月ごと、前払いからお選びいただけます。お支払い方法の詳細については、次の表を参照してください。

契約期間	年単位	月単位	前払い
12 か月		○	○
24 か月	○	○	○
36 か月	○	○	○

製品の詳細： 関連製品

VMware Horizon Application Management Bundle

VMware Horizon® Application Management Bundle に含まれる包括的な Workspace Environment Management* ソリューションを活用することで、Citrix 社製品をご利用のお客様は、XenApp および XenDesktop 環境を最適化することが可能です。時間のかかる煩雑なプロセスであったアプリケーションおよびエンド ユーザーの管理を、拡張性と柔軟性に優れた提供メカニズムに刷新できるため、エンド ユーザーはログインするたびに適切なアプリケーションにアクセスできるようになります。また、Horizon App Management Bundle を利用することで、標準化を行い、インフラストラクチャおよびエンド ユーザーの管理コストを削減することで ROI（投資回収率）の向上を図ることもできます。エンド ユーザーは、場所やデバイスを問わず一貫した形でアプリケーションにアクセスできるようになり、ユーザー環境をよりカスタマイズすることが可能です。

- Horizon Application Management Bundle のライセンスは指定ユーザー単位または同時接続ユーザー単位で提供
- 10 ライセンスまたは 100 ライセンス単位で販売

製品	概要	SKU：10 / 100 Pack
Horizon Application Management Bundle (同時接続ユーザー単位)	次のコンポーネントによる VDI 環境の強化： - App Volumes - User Environment Management - Workspace Portal - vRealize Operations for Published Applications	HZ-APMC-10C HZ-APMC-100C
Horizon Application Management Bundle (指定ユーザー単位)		HZ-APMN -10C HZ-APMN-100C

VMware User Environment Manager

VMware User Environment Manager™ は、あらゆる仮想環境、物理環境、およびクラウド ベース環境で、カスタマイズと動的なポリシー設定機能を提供します。また、既存のインフラストラクチャを利用して拡張可能な単一のソリューションを提供することで、エンド ユーザーのプロファイル管理を簡素化できるほか、IT 部門はインフラストラクチャのマッピング（ネットワークとプリンタのマッピングを含む）とエンド ユーザーのポリシーの動的な設定を容易に実行できるため、より多くのユースケースに安全に対応することが可能です。このソリューションを使用することで、エンド ユーザーは Windows ワークスペースおよび Windows アプリケーションに素早くアクセスし、デバイスと場所を問わず、カスタマイズされた設定を一貫して利用できます。つまり、User Environment Manager を活用することで、業務の生産性が向上すると同時に、購入コストや、デスクトップの日常的なサポートや運用のコスト削減が可能です。

- VMware User Environment Manager のライセンスは指定ユーザー単位または同時接続ユーザー単位で提供
- 10 ライセンスまたは 100 ライセンス単位で販売

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
VMware User Environment Manager (同時接続ユーザー単位)	カスタマイズとポリシー管理の機能を提供	UEM-CCU-10-C UEM-CCU-100-C
VMware User Environment Manager (指定ユーザー単位)		UEM-NU-10-C UEM-NU-100-C

VMware App Volumes

App Volumes は、仮想デスクトップ環境へジャスト イン タイムでのアプリケーションの配布を行うため、アプリケーションをリアルタイムで配布するシステムを構築し、すべてのアプリケーションを統合管理できます。App Volumes では VMDK 仮想ディスクを介して、仮想マシンやアプリケーション自体を変更することなく、アプリケーションを仮想デスクトップに配信できるため、優れたパフォーマンスと従来よりも低コストで、仮想デスクトップにアプリケーションをスケール アウトできます。エンド ユーザー環境に悪影響を及ぼすこともありません。

- App Volumes のライセンスは同時接続ユーザー単位で提供
- 10 ライセンスまたは 100 ライセンス単位で販売

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
App Volumes	- ジャスト イン タイムでのアプリケーションの配布と、仮想デスクトップおよびアプリケーションの管理を必要としているお客様向け	CV-CCU-10-C CV-CCU-100-C

VMware Mirage

VMware® Mirage™ は、PC またはデスクトップ上でローカルに実行される統合デスクトップ管理ソリューションです。PC を複数の論理レイヤーに分離したイメージを使用することにより、エンド ユーザーのカスタム設定を維持したまま、適切なイメージ管理、ディザスタ リカバリ、および移行が可能になります。

Mirage

- Mirage には Mirage Image Management と ThinApp が含まれます*。
- Mirage とそのコンポーネントのライセンスは指定ユーザー単位で提供
- 10 ライセンスまたは 100 ライセンス単位で販売

Mirage Windows Migration

- Mirage Windows Migration は、Windows の移行（例：Windows XP から Windows 7 または 8 への移行）に特化した 6 か月間のライセンスです。
- Horizon Windows Migration のライセンスはデバイス単位で提供されます。
- 最低 10 ライセンスから、10 ライセンス単位で購入できます。

Mirage（以前 Windows Migration を利用していたお客様向け）

- Mirage Windows Migration をお持ちのお客様は、割引価格で Mirage の全機能を利用いただくことができます。
- Mirage の購入を希望される場合は、「1 デバイス = 1 指定ユーザー」の換算基準が適用されます。

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
VMware Mirage	含まれるコンポーネント： - Mirage のイメージ管理 - ThinApp	MGP-10-C* MGP-100-C*
Mirage Windows Migration	Windows の移行に特化した 6 か月間のライセンス (サブスクリプション)	MRG-WIN-6M-TLSS-C (最小単位 = 10 ライセンス)
Mirage (以前 Windows Migration を利用していたお客様向け)	Windows Migration を購入済みで、完全な Horizon Mirage へのアップグレードが必要なお客様アップグレードでは 1 台のデバイスを 1 ライセンス (指定ユーザー単位) に変換	MW-MGP-10-C MW-MGP-100-C

*2015 年 3 月 3 日より、Fusion Pro は Mirage バンドルに含まれていません。詳細については、vmware.com/jp の製品ページを参照してください。Mirage には、構成要素の変更点を反映した新しい SKU が用意されています。現在 Mirage をご利用のお客様にはこの変更による影響はなく、価格の変更もありません。

VMware ThinApp

VMware ThinApp により、単一の実行ファイル内に複数のアプリケーションや基盤となるオペレーティング システムを分離することで、アプリケーションの競合を排除し、多くの端末に容易に展開できるようになります。

- ThinApp のライセンスは、指定ユーザー単位、同時接続ユーザー単位、またはデバイス単位で提供されます。ThinApp はバンドルの一部として提供され、ライセンスの提供方法はバンドルに準じます。

製品	概要	SKU
VMware ThinApp 5 Suite	含まれるコンポーネント： - Packager × 1 - クライアント ライセンス × 50 - Workstation × 1 (管理用)	THIN5-STE-C
VMware ThinApp 5 Client ライセンス	ThinApp クライアント ライセンス × 100	THIN5-100PK-C

VMware Workspace Portal

VMware Workspace Portal は、任意のデバイスからのあらゆるアプリケーションへの、仮想的かつ容易なアクセスを提供します。デバイスを問わずこれらの資産の提供、管理、および保護を一元的に行うことが可能です。

- Workspace とそのコンポーネントのライセンスは指定ユーザー単位で提供
- 10 ライセンスまたは 100 ライセンス単位で販売

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
VMware Workspace Portal	含まれるコンポーネント： - アプリケーション管理 - ThinApp	WSP-10-C WSP-100-C

vSphere Desktop

- vSphere Desktop は、View アドオン、カスタム、およびサードパーティ製のデスクトップ仮想化ソリューション、デスクトップ管理ソリューション、および Horizon Suite 内の製品をホストするために使用されます
- vSphere Desktop のライセンスはパワーオン状態のデスクトップ仮想マシン単位で提供
- 100 パック単位でのみ購入可能

製品	概要	SKU : 100 Pack
vSphere Desktop	View アドオン / カスタム / サードパーティ製のデスクトップ仮想化ソリューション	VS6-DT100VM-C (100 パックのみ)

vRealize Operations for Horizon (旧称 vCenter Operation for View)

- 別売のvRealize Operations for Horizon では、Horizon 環境や Citrix XenApp および XenDesktop 環境を監視可能
- vRealize Operations のライセンスは同時接続単位で提供

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
vRealize Operations for Horizon	Horizon 環境全体の監視	VR6-VU10-C VR6-VU100-C

vRealize Operations for Horizon を稼働させるには、2 つのライセンス キー（vRealize Operations Manager キーと Adapter キー）が必要です。vRealize Operations Manager ライセンス キーの数は、購入単位が 10 パックか 100 パックかに関わらず 1 つです。購入したパックに応じて、Adapter ライセンス キーの数を 10 または 100 のどちらかに合わせる必要があります。

Horizon Enterprise Edition に含まれている vRealize Operations for Horizon の場合、既存の Horizon Suite キーは Adapter ライセンス キーとして利用されるため、購入されたパック数に準じます。vRealize Operations Manager ライセンス キーは 10 パックまたは 100 パックごとに 1 つ付与されます。

提供終了 (EOA) 製品

VMware は、VMware® Horizon™ Suite の提供終了日 (EOA) を 2014 年 4 月 30 日 (米国時間) とすることを発表しました。提供終了日以降、VMware Horizon Suite のご注文はお受けしていません。Horizon Suite の各コンポーネント (View、Workspace、Mirage、ThinApp) は、個々のライフサイクル ポリシーにしたがって、引き続きサポートされます。Horizon Suite をお持ちのお客様は、2014 年 7 月より Horizon Enterprise Edition をご利用いただけます。VMware の製品ライフサイクルの詳細 (一般公開日、サポート、技術的ガイダンスを含む) については、[こちら](#)をご参照ください。

VMware Enterprise Desktop の EOA およびサポート ポリシーについては、[こちら](#) (英語) からご確認ください。

ダウングレードと Horizon Files

ほとんどのデスクトップおよびワークスペース サービス製品は、ダウングレードまたは以前のバージョンの継続利用に対応しています。

Horizon Files と Secure Content Locker

Horizon Suite について： Horizon Suite をご購入済みのお客様は 2014 年 7 月より Horizon Enterprise Edition を使用いただくことができます。Horizon Enterprise Edition には Horizon Files が含まれていないため、Horizon Suite をご利用のすべてのお客様に Secure Content Locker (SCL) の無料ライセンスをご提供していましたが、サポートおよびサブスクリプション (SnS) 料金をお支払いいただく必要がありました。Horizon Files の継続使用をご希望のお客様は、Workspace Portal 2.0 にアップグレードせずに、引き続き Workspace 1.8 をご利用いただけます。Workspace 1.8 は 2015 年 3 月末までサポートを終了しています。

アップグレード

バージョンのアップグレード（権限付与）

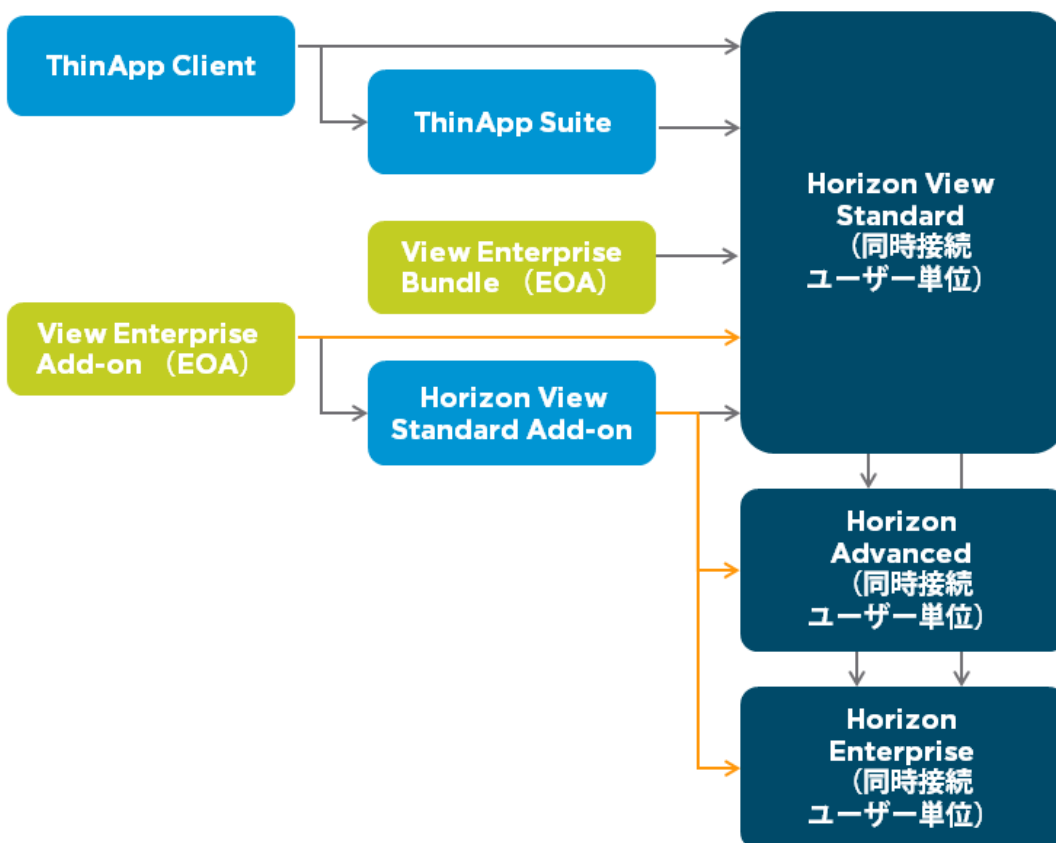
現在有効なサポートおよびサブスクリプション（SnS）契約をお持ちのお客様は、後継製品のバージョンをご利用いただけます。たとえば、Horizon View 5.0 および有効な SnS 契約をお持ちのお客様は、Horizon View 5.3 へのアップグレードが可能です。SnS の契約期限が切れているお客様は、アップグレード前に VMware 認定パートナーまたは VMware サポートにご一報ください。既存の製品に対する未使用の SnS がある場合、SnS 契約を延長することが可能です。

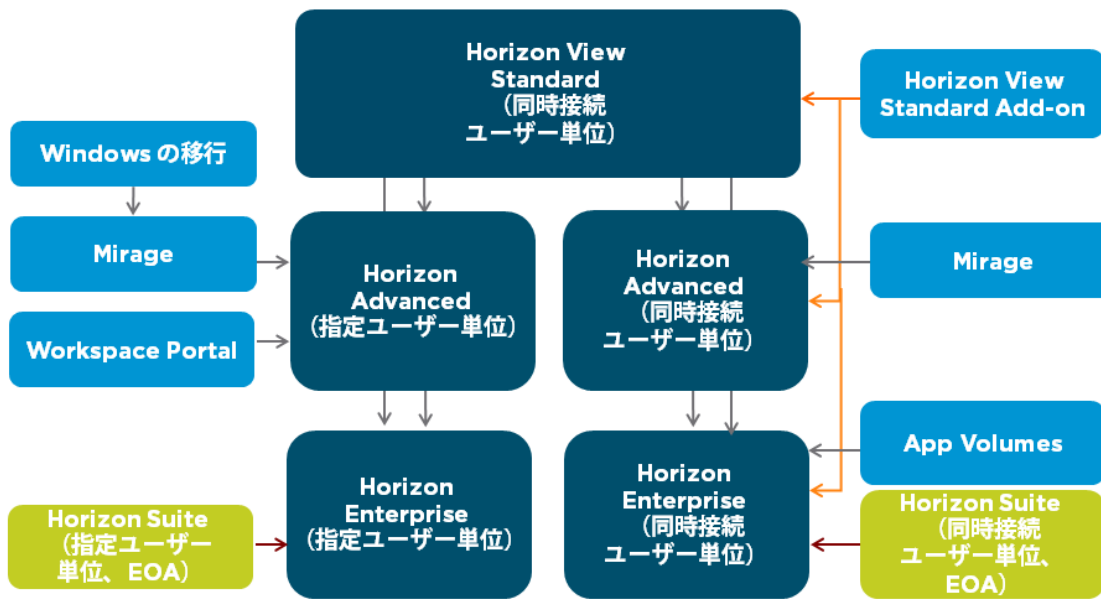
エディションおよびパッケージのアップグレード（有料）

VMware エンド ユーザー コンピューティング製品およびエディション間でのアップグレード方法は次の図の通りです。各ボックスは、特定のアップグレードに必要なステップまたは SKU を表しています。

Horizon Suite をお持ちのお客様は、2014 年 7 月より Horizon Enterprise Edition をご利用いただけます。

アップグレード方法（有料）





Horizon Enterprise Edition へのアップグレード

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
Horizon View Standard Add-On から Horizon Enterprise Edition へのアップグレード (双方とも同時接続ユーザー単位)	1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) を 1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) に 変換	HZ-VAD-ENTC-10-UG-C HZ-VAD-ENTC-100-UG-C
Horizon View Standard Edition から Horizon Enterprise Edition へのアップグレード (双方とも同時接続ユーザー単位)	1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) を 1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) に 変換	HZ-VU-ENTC-10-UG-C HZ-VU-ENTC-100-UG-C
Horizon View Standard Edition (同時接続ユーザー単位) から Horizon Enterprise Edition (指定ユーザー単位) へのアップグレード	1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) から、2 ライセンス (指定ユーザー単位) に変換	HZ-VU-ENTN-20-UG-C HZ-VU-ENTN-200-UG-C
Horizon Advanced Edition から Horizon Enterprise Edition へのアップグレード (双方とも同時接続ユーザー単位)	1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) を 1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) に 変換	HZ-ADVC-ENTC-10-UG-C HZ-ADV-ENTC-100-UG-C
Horizon Advanced Edition から Horizon Enterprise Edition へのアップグレード (双方とも指定ユーザー単位)	1 ライセンス (指定ユーザー単位) を 1 ライセンス (指定ユーザー単位) に変換	HZ-ADV-ENTN-10-UG-C HZ-ADV-ENTN-100-UG-C
Horizon Enterprise Edition (指定ユーザー単位) から Horizon Enterprise Edition (同時接続ユーザー単位、ELA のみ) へのアップグレード	1 ライセンス (指定ユーザー単位) を 1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) に 変換	HZ-ENT-ENTC-10-UG-C HZ-ENT-ENTC-100-UG-C

Horizon Advanced Edition へのアップグレード

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
Horizon View Standard Add-On から Horizon Advanced Edition へのアップグレード (双方とも同時接続ユーザー単位)	1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) を 1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) に 変換	HZ-VAD-ADVC-10-UG-C HZ-VAD-ADVC-100-UG-C
Horizon View Standard Edition から Horizon Advanced Edition へのアップグレード (双方とも同時接続ユーザー単位)	1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) を 1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) に 変換	HZ-VU-ADVC-10-UG-C HZ-VU-ADVC-100-UG-C
Mirage から Horizon Advanced Edition (指定ユーザー単位) へのアップグレード	1 ライセンス (デバイス単位) を 1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) に 変換	HZ-MG5-ADVC-10-UG-C HZ-MG5-ADVC-100-UG-C
Horizon View Standard Edition (同時接続ユーザー単位) から Horizon Advanced Edition (指定ユーザー単位) へのアップグレード	1 ライセンス (同時接続ユーザー単位) から、2 ライセンス (指定ユーザー単位) に変換	HZ-VU-ADV-20-UG-C HZ-VU-ADV-200-UG-C
Mirage から Horizon Advanced Edition (指定ユーザー単位) へのアップグレード	1 ライセンス (指定ユーザー単位) を 1 ライセンス (指定ユーザー単位) に 変換	HZ-MRG-ADV-10-UG-C HZ-MRG-ADV-100-UG-C
Workspace Portal から Horizon Advanced Edition へのアップグレード	1 ライセンス (指定ユーザー単位) を 1 ライセンス (指定ユーザー単位) に 変換	HZ-WSP-ADV-10-UG-C HZ-WSP-ADV-100-UG-C

Horizon View Standard Edition へのアップグレード

Horizon View Add-On から Horizon View Standard Edition へのアップグレード

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
Horizon View Add-on から Horizon View Standard Edition へのアップグレード	View Add-on を購入済みで、完全なバンドルが必要なお客様向け 含まれるコンポーネント： - vSphere Desktop - vCenter Desktop	HZ-ADD-STD10-UG-C HZ-ADD-STD100-UG-C

View Enterprise Edition* から Horizon View へのアップグレード

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
View Enterprise Bundle から Horizon View Standard Edition へのアップグレード	View Enterprise から Horizon View へのアップグレード : 10 Pack または 100 Pack	HZ-VENT-STD10-UG-C HZ-VENT-STD100-UG-C
View Enterprise Add-on から Horizon View Add-on へのアップグレード	View Enterprise から Horizon View へのアップグレード : 10 Pack または 100 Pack	VU5-ENT-PR-A10-UG-C VU5-ENT-PR-A100-UG-C
View Enterprise Add-on から Horizon View Standard へのアップグレード	2 段階のプロセス View Enterprise Add-on から Horizon View Edition へのアップグレード	HZ-EAD-STD10-UG-C HZ-EAD-STD100-UG-C

*VMware は 2013 年、View Enterprise パッケージの提供終了を発表しました。

ThinApp から Horizon View Standard Edition へのアップグレード

製品	概要	SKU : 10 / 100 Pack
ThinApp Suite から Horizon View Standard Edition へのアップグレード	ThinApp Suite から View Premier 100 Pack へのアップグレード Horizon View の新しいライセンスでは、既存の ThinApp Suite (50 クライアント) は無効	HZ-THIN-STD100-UG-F
ThinApp New Year Promo から Horizon View Standard Edition へのアップグレード	ThinApp Promo から View Premier Starter Kit へのアップグレード Horizon View の新しいライセンスにより、既存の ThinApp Promo のライセンス (10 クライアント) は無効	HZ-TPRO-STD10-UG-C
ThinApp Client ライセンスから Horizon View Standard Add-On へのアップグレード	ThinApp Client から Horizon View Standard Add-on へアップグレード	HZ-CL-STDA10-UG-C
ThinApp Client ライセンスから Horizon View Standard へのアップグレード	2 段階のプロセス 1. ThinApp Client から Horizon View Add-on へのアップグレード 2. Horizon View Add-On から Horizon View Standard Edition へのアップグレード	HZ-CL-STDA10-UG-C HZ-ADD-STD10-UG-C HZ-ADD-STD100-UG-C

本資料は原題「VMware Horizon: Packaging and Licensing」の翻訳版です。



ヴァイムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2015 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 件または複数の特許の対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。